

大学

企画課管理用 社 — C — 1

推進主体	キャリアセンター
責任者	キャリアセンター部長

分類	実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
社 — C	①国内外で活躍する卒業生との連携強化	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容

令和21年度に本学があるべき姿＝ビジョンを実現するため、国内外で活躍する卒業生との連携を強化する。

◎面接対策セミナー等で積み上げてきた卒業生との連携を強化し、学生のキャリア形成支援策のさらなる充実を図る。30年以上続く面接対策セミナーは、令和3年1月、コロナ禍で初のオンライン開催となったが、卒業生の協力を仰ぎ、プログラムや運営方法を大幅に見直し実施することができた。今後も、採用状況や社会の変化にあわせた改善ができるよう、卒業生とのさらなる連携を図っていく。業界研究セミナーや海外インターンシップ等も、卒業生の協力のもと、業界や地域のタイムリーな情報を得て編成している。卒業生団体の桜友会、国内外で活躍する卒業生との連携を強化し、引き続きキャリア支援施策の充実を図っていく。

また、様々な卒業生に学生のキャリア支援への協力を仰げるよう工夫する。学生キャリアサポーター等、在学中にキャリアセンターと関係構築できている卒業生に協力を依頼したり、卒業生名簿(OBOG訪問用)の見直しを行ったりすること等で、特に若手OBOGとの連携協力体制を作っていく。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

- ・卒業生と連携し、学生が社会を理解するために役立つセミナー等の施策を継続的に行う。セミナー等の内容は、社会状況を踏まえ改善や再編を行う。
- ・様々な卒業生に学生のキャリア形成支援に協力していただけるよう、在学中の関係構築などを通じて、卒業後も連携がとれる状態を確保する。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定		・面接対策セミナーオンライン開催(2年連続)の検証と今後の運営方針の検討 ・海外インターンシップ再開(状況に応じて可否決定) ・社会を知るためのセミナー企画の検討・実施 ・学生キャリアサポーター制度の創設(令和4年度以降、さらなる活用の検討) ・卒業生名簿の見直し					
※ 国内外の卒業生との連携強化に基づくキャリア支援の諸施策について、検証・改善・再編を毎年継続して行う							

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	<input type="checkbox"/> 面接対策セミナーオンライン開催(2年連続)の検証と今後の運営方針の検討 <input type="checkbox"/> 海外インターンシップの再開(状況に応じて可否決定) <input type="checkbox"/> 社会を知るためセミナー企画の検討・実施 <input type="checkbox"/> 学生キャリアサポーター制度のさらなる活用の検討 <input type="checkbox"/> 卒業生名簿の見直し	<input type="checkbox"/> 面接対策セミナー:オンライン開催時の1DAYプログラムを活かし、対面にて実施予定である。 <input type="checkbox"/> 夏季海外インターンシップ:ベトナム校友会のサポートのもと、コロナ禍の環境を踏まえた計画を立て再開した。 <input type="checkbox"/> セミナー関連:学内企業説明会参加企業へ卒業生社員の出席を依頼した。 <input type="checkbox"/> キャリアサポーター制度:内定者座談会等へ積極的に参画。メンタイサポーター希望者は若干不足。 <input type="checkbox"/> 卒業生名簿:進路決定届提出時に名簿掲載可否確認と連絡先登録ができるようシステム改修を行った。 ★進捗段階:「実施展開」
令和5年度 (2023年度)	ウィズコロナの状況下で卒業生やキャリアサポーターの協力を得て実施した面接対策セミナー(オンライン/対面)、海外インターンシップ、各種セミナー等について、継続して協力を仰ぎながら、各計画をより良い方向に進めていく。 なお、卒業生名簿(OBOG訪問用)の見直しは概ね問題なく進んでおり、年次計画で10年かけて新しい形式に更新する。	<input type="checkbox"/> 夏季海外インターンシップ:『ベトナム海外インターンシップ研修』という名称で、ベトナム校友会のサポートのもと、コロナ禍以前に近い規模で実施することができた。 <input type="checkbox"/> 面接対策セミナー等各種行事:一部の例外を除き、原則対面にて滞りなく実行した。なお、この面接対策セミナーについては、卒業生が講師として在籍生を直接指導するという、卒業生同士の絆が後輩に還元される大変稀有な機会であり、本学の就職支援の特色として広くPRしていることを付記する。 <input type="checkbox"/> 卒業生名簿:同名簿の取り扱いについて、個人情報保護への配慮を強化した新たな方式による運用が問題なく執り行われた。 ★進捗段階:「実施展開」
令和6年度 (2024年度)	<input type="checkbox"/> 従来のキャリアセンターによる就職支援の幅を広げる試みとして、令和5年4月に初めて教職課程事務室と合同で、教職志望者向けのセミナーを開催した。これを令和6年度にも実施し、定着化させることにより、教職志望者のキャリアセンター活用への誘導を図り、卒業後を含めた進路転換時の支援等の取り組みの強化につなげたい。 <input type="checkbox"/> 面接対策セミナー等の各種セミナーや、海外行事の運営等多方面において、卒業生組織との連携を引き続き保持する。 <input type="checkbox"/> 卒業生名簿の情報源となる、就職に係る学籍や企業データ等の管理について、今後予定されている女子大学との統合をも見据え、適正かつ合理的な方式を検討する。	<input type="checkbox"/> 教職志望者向けのセミナーは、教員採用試験との重なり等から継続を見送り、新たな試みとして教職課程事務室所管のガイダンス情報の掲出及び予約管理等をキャリアセンター所管のWebサービスに集約しキャリア支援情報の一元化を図った。 <input type="checkbox"/> 卒業生組織との連携において、面接対策セミナーは学習院女子大学との統合に先行し令和6年度から合同開催にした。海外でのインターンシップは3省合意による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」の改正を受け、令和5年度から呼称を「スタディツアー」に変更して継続し、参加学生はコロナ後再開した令和4年度の11名から年々増えて22名に回復した。 <input type="checkbox"/> 卒業生名簿は、今後の管理体制について女子大との統合に向け、担当者と意見交換した。 ★進捗段階:「実施展開」
令和7年度 (2025年度)	<input type="checkbox"/> 教職の他、留学に係る部署との連携も深めている。就職支援領域の拡大に加え、各領域のサービスをさらに充実させることで学生のキャリアセンターの活用を促進し、その結果として後輩のキャリア形成支援に理解ある卒業生の増加と多様化を目指す。 <input type="checkbox"/> 卒業生組織との連携を保持し、就職活動の早期化・長期化及び学習院女子大学との統合後の2キャンパス体制を念頭に新たな協力体制を模索する。 <input type="checkbox"/> 卒業生名簿は、令和6年度に実施した学習院女子大学との統合に向けての意見交換をふまえ、適正かつ合理的な情報提供及び情報更新の在り方を検討する。	<input type="checkbox"/> 留学に係る部署との連携については、令和7年度は計5回、国際センター主催の行事の中でキャリアセンター職員が「留学と就職活動について」の説明をする機会を得て、参加学生の理解を深めるきっかけ作りに貢献することができた。 <input type="checkbox"/> 就職活動の早期化・長期化、選考方法の多様化を受け、35年続いた「面接対策セミナー」を「学習院キャリアフェスティバル」としてリニューアルした。就職活動全般を対象とし、200名近い卒業生とコミュニケーションがとれる機会として生まれ変わり、学習院女子大学との共同開催として女子大学生の積極的な参加も促した。 <input type="checkbox"/> 卒業生名簿については、先行して大学の卒業生名簿の見直しを実施した。 ★進捗段階:実施展開
令和8年度 (2026年度)	<input type="checkbox"/> 第1回の学習院キャリアフェスティバルの実施によって得た経験を生かし、学生ニーズの把握に努めた上で、第2回の開催に繋げる。また、前年度の学生キャリアサポーターが卒業生となり、今度は講師として行事を支えてくれるよう、連携の維持、強化を図る。 <input type="checkbox"/> 教職や留学は、就職活動と時期が重なる可能性があり、その影響は小さくないので、引き続き関係部署との連携を図り、学生のサポートに注力する。 <input type="checkbox"/> 卒業生向けのキャリア支援については、大学(キャリアセンター)は何を求められ、支援策として何ができるのか、を他大学の例を参考にしながら検討を始める。	